



第28回日本水大賞

募集期間 7月7日～10月31日

事務局からのお知らせ

日本水大賞委員会 事務局

日本水大賞委員会では、「第28回日本水大賞」の募集を開始するにあたり、募集要項の内容をはじめ、選考のあり方などについて検討を行いました。その議論を踏まえ、以下の通りお知らせしますので、応募を検討する上で参考にいただければ幸いです。

1. 応募対象や選考のあり方等について

- ・ 活動年数が短くても、新しいアイデアや今後非常に役立つ取り組みと思われるものは、十分受賞対象となります。
- ・ 水質改善や水辺環境の保全といった環境分野や、近年水害が多発している状況の中で、住民避難の円滑化、水害情報の迅速な把握・伝達等に関する積極的な取り組みなどの防災分野等、水に関わる活動ならどんなことでも結構です。積極的なご応募をお待ちしております。
- ・ 募集要項にも記載していますが、活動主体が「行政」であっても応募可能です。ぜひご応募ください。
- ・ また、活動主体が企業の場合、企業が実施する本来のビジネス活動であっても、その技術や装置などがビジネス活動を通じて社会貢献に特に優れた実績をあげたものについては受賞対象となります。
- ・ 大学におけるサークル活動なども応募可能です。学生の社会貢献の取り組みや市民活動と連携した取り組み等の応募を期待しています。一方で、純粋な学術研究は受賞の対象にはなりません。

2. 応募に際しての参考資料について

ホームページに以下の資料を掲載しています。ぜひ参考にしてください。

○第 1 回～26回までの「受賞活動集」がご覧いただけます。

<https://www.japanriver.or.jp/taisyo/jyusyou.htm>

○受賞者の「応募書類」の一部を掲載しています。書類作成の参考としてください。

https://www.japanriver.or.jp/taisyo/oubo_jyusyou/oubo/no25_oubo.htm

○「受賞者データベース」を掲載しています。全国のどの地区で、どのような活動を行い、受賞に至ったのか確認できます。

<https://www.japanriver.or.jp/database/taisyo/>

3. 応募にあたっての注意点

- ・ 提出される書類は、誰にでも分かるような言葉や表現にてお願いいたします。活動内容の紹介には、学術用語や専門用語の乱用は避けていただき、応募書類は誰が見ても分かり、理解してもらえるような記述をお願いいたします。
- ・ 入賞作品についてはホームページ上での公開を予定しています。また、ご応募いただいた団体の名称・所在地・活動内容等についても、公開される場合がありますので、ご承知おきください。
- ・ 日本水大賞に応募された作品を日本ストックホルム青少年水大賞に応募することも可能です。ただし、応募の方法、応募期間が異なります。それぞれの募集要項をご参照ください。